2014年3月23日掲載　市民タイムス　「オーケストラ部　定期演奏会」

クラシックの名曲披露

松本秀峰のオーケストラ部 30日に定期演奏会

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校オーケストラ部が30日、松本市島内の市音楽文化ホールで、第3回定期演奏会を開く。クラシックの名曲に挑む1年生から4年生までの部員50人が、本番に向けて練習に励んでいる。

曲目はベートーベン「交響曲第5番」やモーツァルト「フィガロの結婚序曲」などで、生徒が中心になって選曲した。コンサートマスターの中沢冬芽(とうが)君(15)＝3年生＝は「ここまでの演奏ができると知ってほしい」と話し、開演前に演奏曲の背景を紹介するプレトークも担当する。

平成22年の発足当時は部員11人だったことを振り返り、部長の滝沢愛さん(16)＝4年生＝は「演奏曲のレパートリーが増えた」と喜び「音楽を通じてたくさんの出会いがある。その楽しさを伝えたい」と話す。顧問の瀬川伸教諭(36)は「生徒たちがクラシック音楽に真摯(しんし)に向き合う姿を見てほしい」と来場を呼び掛けている。

入場無料。プレトークが午後1時45分から、開演は2時から。問い合わせは松本秀峰中等教育学校（☎0263・31・8311）へ。（片岡　望）

本番に向けて熱心に練習に励む50人の部員たち